

カンボジア 工場労働者のための子宮頸がんを入口とした 女性のヘルスケア向上プロジェクト

Newsletter from SCGO-JSOG Project on Women's Health and Cervical Cancer

No.6 April 2016

カンボジア医師、日本産科婦人科学会第 68 回学術講演会に参加

4月21日～24日に東京で開催されました第68回日本産科婦人科学会学術講演会に、カンボジア産婦人科学会からカナール学会長、タレス学会事務局長、パリー理事、クメールソビエト病院のキナ医師の4名が参加しました。

タレス学会事務局長は、“Cervical cancer management in Cambodia and its challenges”と題して、またクメールソビエト病院のキナ医師は“Current situation of cervical cancer diagnosis, management and registration in three national tertiary hospitals in Cambodia”と題して、それぞれ口演を行いました。

タレス医師の発表

タレス医師は、アジア・オセアニア産科婦人科連合との共同プログラムのアジアセッションの Challenge of low resource countries の一環としてモンゴル、ミャンマーからの発表者とともに発表し、カンボジアの子宮頸がんの現状と課題に関して考察とともに述べるものでした。

キナ医師の発表&優秀演題賞受賞!!

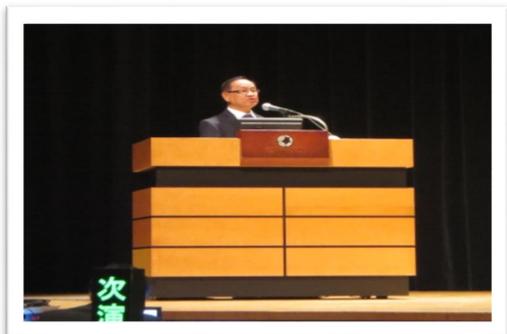
キナ医師の発表は、「工場労働者のための子宮頸がんを入口とした女性のヘルスケア向上プロジェクト」の対象病院であるクメールソビエト病院、カルメット病院、国立母子保健センターの国立3病院における子宮頸がんの診断治療の現状をまとめたもので、当プロジェクトを開始するにあたり、最初の指標となるものでした。

キナ医師の発表は日本産科婦人科学会の英語での一般演題の中から選ばれた受賞候補演題となり、また最終的に日本国内から5名、海外から5名が選ばれた国際セッションの優秀演題賞を受賞しました。

カンボジア産婦人科学会からの参加者およびプロジェクト関係者は皆、キナ医師の受賞を非常に喜び、クメールソビエト病院の副院長であるパリー理事からは、今回の発表内容をプロジェクトの進捗とともにさらに充実させ、来年も是非カンボジアから国際セッションに演題を出し、キナ医師に続いて優秀演題賞を受賞できるように頑張ろうとのコメントがありました。

キナ医師からは、「日本産科婦人科学会のサポートを得てプロジェクトが始まり、今回の発表を多くの方のご協力のもとにまとめることができた。今後、プロジェクトを盛り立てて、来年の日本産科婦人科学会でカンボジアが1年でこれだけ変わったと思ってもらえるような発表ができるように頑張りたい」とのコメントがありました。

(写真中)キナ医師の発表
(写真下)キナ医師の受賞風景



(写真) タレス医師の発表

Results			
2015	Calmette	KSH	NMCHC
Number of gynecology consultation	6960	7404	2189
Number of the cytology	2429	503	657
Colposcopy Caves	10	45	451
Cervical Biopsy	Unknown	308	11



～キナ医師優秀演題賞受賞の喜びの声～

Preliminary I express mandate of thanks to Prof. Keiichi Isaka, who invited me to attend the 68th annual congress of Japan Society of Obstetrics and Gynecology in Japan this year with the objective on the succession and the standardization of the next generation. With the initiative idea from the JSOG especially Prof. Kimura to present the current situation of cervical cancer in the three national tertiary hospitals in Cambodia. With efforts by Dr. Noriko, Dr. Hiromi and Dr. Matsumoto recently I had the courage to present in international congress such a dream. There are indications from Professor Koum Kanal, Chairman of the Cambodian society of Obstetrics and Gynecology, for the revised meaning of my presentation. Finally I got the award and I bought the atlas gynecologic operation and it's very interesting memory for me in Japan. I was very interested to see young doctors join the presentation at international session. It was a chance to meet with the famous doctors who come from many countries in the world. Through the experience gained from this congress and through the help from JSOG, I hope coming soon the country will be able to access cervical cancer prevention programs in the future. Finally I would like to thank all Japanese doctors who come and spent a lot of time to share their experience to Cambodian doctors to strengthen the human resources and the quality control.



(写真上) 受賞直後のキナ医師と藤田医師
(写真下) 学会に参加した当プロジェクト関係者

予防医学協会を訪問

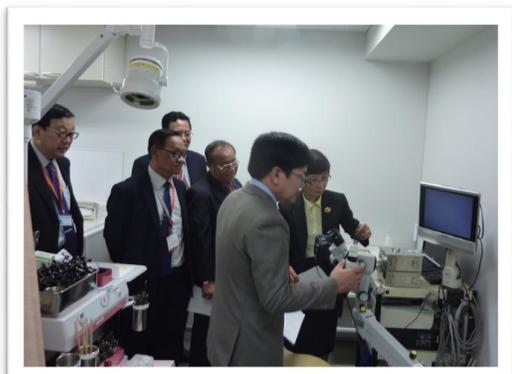
学会期間中に、カンボジア人医師 4 名は公益財団法人東京都予防医学協会のクリニックを訪問しました。

東京都予防医学協会検査研究センター長の木ロー一成先生より、日本の子宮頸がん一次検診・二次検診の流れや検診の精度管理等について講義を受け、その後クリニックの見学をしました。

予防医学協会を受診される方々が、どのように予約をして受診しているのか、またカルテがどのように記載され、また、結果報告がどのように行われているのかを詳細に説明を受けました。



(写真) 東京予防医学協会にて



(写真) 東京予防医学協会での見学風景

プロジェクトを取り巻く動き

- 3/23-4/6 : 松本安代医師カンボジア派遣
- 4/20~4/25: カンボジア人医師 4 名、第 68 回日本産科婦人科学会学術講演会に参加
- 4/29-5/7 : 藤田則子医師カンボジア派遣

～ミニミニコラム～

キナ医師は、インターナショナルセッションの優秀演題賞で頂いた賞金を使って、学会場で、骨盤解剖アトラスの教科書を購入し帰国しました。

「これから自分たちの臨床をより向上させるためには、教科書できちんと学ばなければいけないから…病院のみんなで使います。」とのことでした。



(写真左) キナ医師が購入した教科書
(写真右) 実戦部隊の他の医師に購入した教科書を見せ、情報共有